

課題名	9. 極早生温州の特性について
成果の要約	<p>1. 岩崎早生は、10月中旬に糖度が高くなり、酸含量が減少する。</p> <p>2. 原口早生は10月下旬になると酸含量が低下し、糖度が極めて高くなり、浮き皮の発生も少ない。</p>
成績概要	<p>1. 市文早生は、酸含量の減少が早い反面、糖度が低く、多雨年に浮き皮果が多発する。</p> <p>2. 山川早生は、市文や岩崎に比べて果皮着色の進みが早いが、酸含量が高く、糖度が低い。</p> <p>3. 上野早生は、糖度及び酸含量とも年次変動が大きい。</p> <p>4. 市文、岩崎、山川、上野、徳森及び原口早生は、いずれの系統とも11月下旬になると酸含量が1.0以下になる。全系統とも多雨年には、浮き皮が発生するが、原口及び上野早生では、発生が少ない。</p> <p>5. 市文、岩崎、山川、上野、徳森、原口の時期別品質(61~62年)</p>
図表	

